

『よくある質問／FAQ』

Q 受験予約した日にちや会場を変更できますか？

A 予約の変更は予約ウェブサイトで、テスト日の3営業日前（テスト日が祝日の場合は4営業日前）まで可能です。

Q 受験できる回数に限りはありますか？

A 総合得点が200点以上に達するまでは制限はありませんが、受験日と受験日の間は45日間空ける必要があります。また、あらかじめ複数日の予約をすることはできません。200点以上の得点を取ると、その後は受験できません。

Q JFT-Basicの判定結果は、どの在留資格の申請に使えますか？

A A1は「育成就労」と「留学※1」の資格申請に、A2.1は主として育成就労制度で本人が転籍しようとする際の手続きに、A2.2（A2）は「特定技能1号」の資格申請に使えます※2。

※1 日本語教育機関への入学

※2 就労する産業分野によっては、より上位の日本語能力水準が求められる場合があります。

Q テスト結果に有効期限はありますか？

A JFT-Basicのテスト結果に有効期限はありません。ただし、予約ウェブサイトにテスト結果データが保存される期間は5年間です。この期間中は、予約ウェブサイトから判定結果通知書を見ることができますが、この期間を過ぎると、判定結果通知書を見ることができなくなります。予約ウェブサイトにテスト結果データが保存されている期間に、印刷をしておいてください。

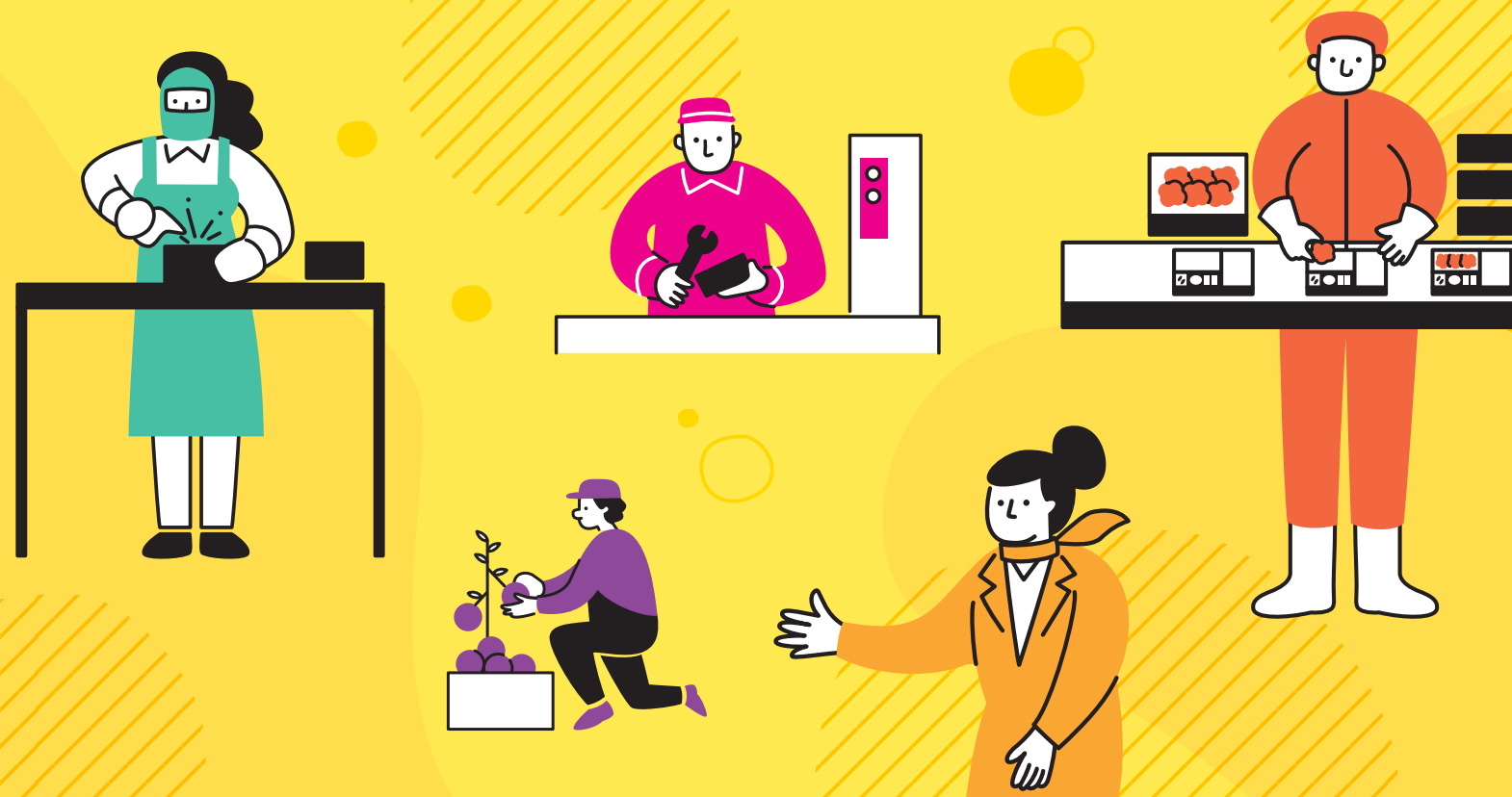
JFT-Basic公式ウェブサイト上にも「よくある質問」を掲載しています。

受験や予約に関するお問い合わせ

プロメトリックカスタマーサービスセンター



JFT Basic 国際交流基金 日本語基礎テスト



『国際交流基金日本語基礎テスト (JFT-Basic)』をご存知ですか？

国際交流基金日本語基礎テスト

(Japan Foundation Test for Basic Japanese,

略称:JFT-Basic) は、

主として就労のために来日する外国人が遭遇する
日本の生活場面でのコミュニケーションに必要な
日本語能力を測定することを目的としたテストです。



特徴①

テストは原則、毎月実施されます。

国により、実施日数は異なります。

特徴②

**在留資格「特定技能1号」・「育成就労」・「留学※」の申請に
使えます。**

※日本語教育機関への入学

特徴③

テスト結果は受験後すぐにわかります。

会場でコンピューターを使用して出題・解答し、終了時の画面にテスト結果が表示されます。

『実施概要』

主催 独立行政法人国際交流基金 (The Japan Foundation)

日程 原則、毎月実施

実施国 モンゴル、インドネシア、カンボジア、タイ、フィリピン、ベトナム、ミャンマー、インド、スリランカ、ネパール、バングラデシュ、パキスタン、ウズベキスタン、日本

受験資格 日本語を母語としない外国人
インドネシア国籍の場合、テスト日において満18歳以上であること
ミャンマー国籍の場合、テスト日において満17歳以上であること
日本国内で受験する場合、日本の在留資格を有すること (短期滞在可)

申込方法 予約ウェブサイトからのオンライン申込み
【予約ウェブサイト(プロメトリック社)】
https://www.prometric-jp.com/ssw/test_list/archives/1

受験料 日本国内で受験する場合：10,000 円 (消費税相当額を含む)
日本国外で受験する場合：国によって異なります

支払方法 クレジットカード、eウォレット、パウチャー等
(国によって異なります)

予約ウェブサイトは
こちら



『判定する日本語能力水準』

このテストでは、ヨーロッパ言語共通参照枠 (CEFR)、
「JF 日本語教育スタンダード」、「日本語教育の参照枠」における、
A1、A2.1、A2.2 (A2) に達しているかどうかを判定します。

10 点～ 250 点の得点範囲において、145 点～ 174 点は A1、175 点～ 199 点は
A2.1、200 点～ 250 点は A2.2 (A2) と判定されます。

ヨーロッパ言語共通参照枠 (CEFR)：欧州評議会が 2001 年に公開した、ヨーロッパの言語教育・学習・評価の
場で共有される枠組み

JF 日本語教育スタンダード：CEFR にもとづき国際交流基金 (JF) が開発した、日本語のコースデザイン、授業
設計、評価を考えるための枠組み

日本語教育の参照枠：CEFR を参考に 2021 年に文化庁が公開した、日本語教育に関わる全ての者が参照できる
日本語学習、教授、評価のための枠組み

『受験予約の流れ』

01

プロメトリック社のウェブサイト(以下、予約ウェブサイト)にアクセスして、プロメトリックIDを取得

予約ウェブサイトはこちら



※プロメトリックIDがないと受験できませんのでご注意ください。

02

予約ウェブサイト上でテスト日程と会場を確認



「開催情報」項目内の「開催日程」をクリック



「日本国外での受験」または「日本国内での受験」の「JFT-Basicの開催日程」をクリック



日程と会場をご確認ください

03

プロメトリックIDでログインし、テスト日、テスト会場、テスト開始時刻を選択して受験予約



予約ウェブサイトの「ログイン」ボタンをクリック



希望する会場・日時を選択して予約

※受験希望日の3営業日前(受験日が土日祝日の場合は4営業日前)までに、予約ウェブサイトですべての予約を完了してください。

04

受験料を支払う

国別受験料金



国別支払方法



05

予約完了 予約ウェブサイト上に表示された予約確認書を確認

『受験から判定結果通知までの流れ』

06

テスト会場に行く前に、当日の持ち物を準備し、予約ウェブサイトの以下のページを確認

当日の持ち物

重要

① 予約確認書

② 本人確認書類(原本)

日本で受験する場合: パスポート+在留カード
インドネシアで受験する場合: e-KTP
インドネシア・日本以外で受験する場合: パスポート

テスト当日に予約確認書と本人確認書類(原本)の提示が必要です。提示ができない場合は受験ができません。予約確認書は印刷したものをテスト当日にお持ちください。

受験規定

会場での禁止事項や受験時の注意事項が書かれています。

日本国内



日本国外



受験の流れ

事前の準備事項や、当日の受付から終了まで、一連の流れを紹介しています。



07

テスト会場で受付・チェックイン

- テスト開始時間の30分前までに会場にお越しください。
- 受付で予約確認書と本人確認書類(原本)をご提示ください。
- 本人確認の際は、受付の指示に従ってマスクを外してください。



プロメトリック社提供

08

受験



プロメトリック社提供

テスト終了後、コンピューター画面にテスト結果が表示される

09

受験後5営業日以内に予約ウェブサイト上で判定結果通知書が発行される



予約ウェブサイトログインすると、判定結果通知書が表示され、印刷もできます。

【 テストの構成 】

「文字と語彙」「会話と表現」「聴解」「読解」の4セクションで構成。合計で約50問が出題され、受験時間は60分間です。
セクションごとの解答制限時間はありません。

セクション	カテゴリー
文字と語彙 (約12問)	語の意味
	語の用法
	漢字の読み
	漢字の意味と用法
会話と表現 (約12問)	文法
	表現
聴解 (約12問)	内容理解(社交的なやりとり)
	内容理解(店や公共機関でのやりとり)
	内容理解(指示・アナウンス)
読解 (約12問)	内容理解
	情報検索

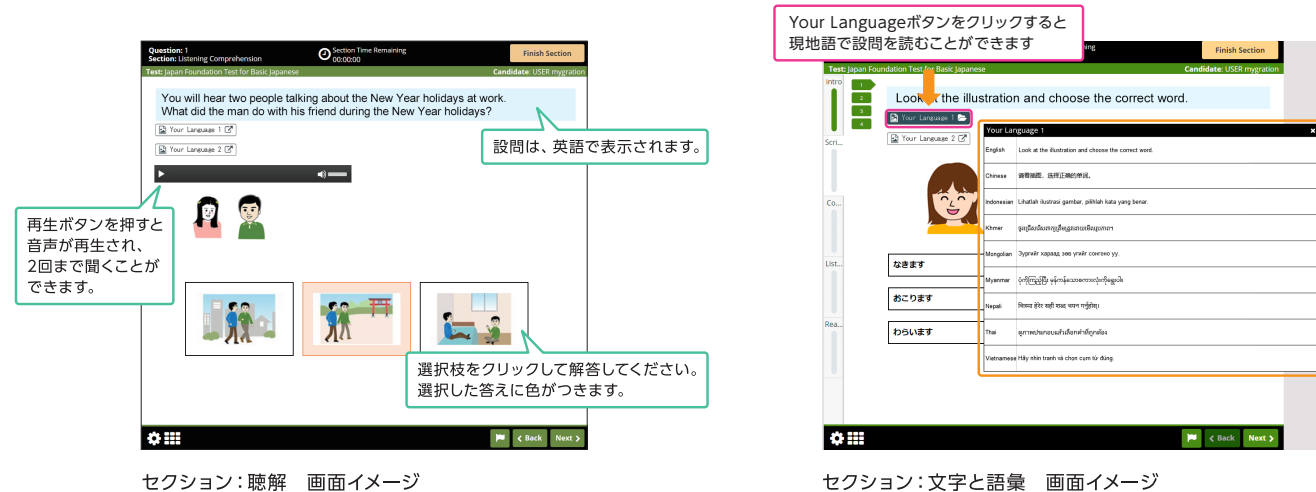
60分(約50問)

※同じセクション内であれば、見直し、再解答
できますが、次のセクションに移動すると、
前のセクションに戻ることはできません。
聴解セクションでは、前後の問題に移動し
て、見直し、再解答することはできません。

【 テストの形式 】

コンピューターを使用して出題、解答するCBT方式です。受験者は、ブースで、コンピューターの画面に表示される問題
やヘッドフォンに流れる音声をもとに、画面上で解答します。設問は英語で表示されますが、Your Language ボタン
をクリックすると、現地語*で設問を読むことができます。

*Your Language 1: 英語、中国語、インドネシア語、クメール語、モンゴル語、ミャンマー語、ネパール語、タイ語、ベトナム語
Your Language 2: ウズベク語、ベンガル語、ラオス語、マレー語



■ テスト画面の操作方法

テスト画面の実際の操作について詳しく知りたい方は、[YouTube 公式アカウント内の動画をご参照ください](#)。JFT-Basicの画面の
見方や、答え方についてご紹介しています。



動画はこちら

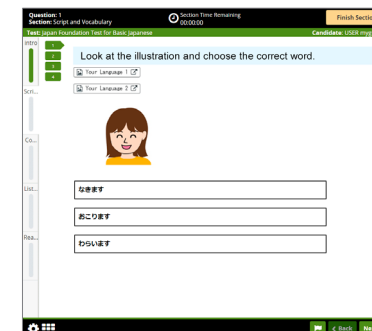


【 サンプル問題 】

JFT-Basic公式ウェブサイトサンプル問題を掲載しています。受験前にご利用ください。



JFT-Basic公式ウェブサイト
<https://www.jpj.go.jp/jft-basic/>



サンプル問題①



サンプル問題②

【 学習のヒント 】

■ いろどり 生活の日本語

日本語コースブック『いろどり 生活の日本語』は、外国の人が日本で生活や仕事を
する際に必要となる、基礎的な日本語のコミュニケーション力を身につけるため
の教材です。日本での生活に即したさまざまな場面や題材を扱っており、実際に
用いられるであろう日本語のコミュニケーションを効果的に学べ
ます。各課の学習目標をCan-doの形で提示し、その課の学習で
「できる」ようになることを明確にしています。

<https://www.irodori.jpj.go.jp/>



■ いろどり 日本語オンラインコース

コースブック『いろどり 生活の日本語』をもとにした、総合的な日本語力を身に
つけるためのオンラインコースです。『学習コンテンツ』で、日本の生活場面で
必要となる日本語を、動画などを使ってインタラクティブに学ぶことができ、
「練習コンテンツ」で、漢字や文法など、自信がないと思ったところをくり返し
練習できます。スマートフォン、パソコン、タブレットで利用
できますので、隙間時間を利用して、いつでも、どこでも日本語
の学習をすることができます。

<https://www.irodori-online.jpj.go.jp/>

